



TOKYO 23 FOOTBALL CLUB

NEWS

No.091

2013年09月16日(月)

東京23FC広報室

www.tokyo23fc.jp

NEXT GAME!!

関東リーグ後期最終節

VS



流通経済大学FC

日程: 2013年09月22日(日)

時間: 13時00分 キックオフ

場所: 八幡公園八幡球技場

千葉県市原市八幡440 八幡公園内

現在の順位

第8節 終了時点 **第3位** →

◆ Publisher ◆

Taketoshi Nishimura

◆ Editor In Chief ◆

Taiki Harano

◆ Editorial/Text/Photo ◆

Akira Motegi

Hideaki Maeda

Hasegawa hids. 家族とくらしを支える。



おそうじ本舗. 靴専門科

人から人へぬくもりが伝わるサービスとは何かを常に考えながらさまざまな事業で社会に貢献し続けます。

おいしい夢をお届けします **パン・アキモト**

7月のパンを誌

〒329-3147 栃木県那須塩原市車小屋295-4
TEL: 0287-65-3351
FAX: 0287-65-3353

WWW.PANAKIMOTO.COM

逆転優勝の道、途絶える。

今季2敗しているFCKOREAとの負けられない一戦。先制するも、後半ロスタイムに逆転され2-3で敗戦。次節、来年へ繋がる試合を..

《HOME》

2013/09/14 14:30 KO 横浜みなとみらいスポーツパーク

《AWAY》

関東リーグ後期第8節

TOKYO23FC



2 - 3



FC KOREA

山本 1 (前半) 0
og 1 (後半) 3

GK	1	岡本 翼
DF	5	伊藤 龍
DF	6	安東 利典
DF	14	山村 和士
DF	18	渡邊 敬人
MF	8	猪股 聖哉
MF	27	田仲 智紀
MF	19	岡 正道
MF	11	田村 聡
FW	30	河村 太郎
FW	10	山本 恭平



<SUB>

GK 21 平川正城 DF 2 石井裕紀
DF 3 中山友規 MF 14 山村和士
MF 7 新見亮太 MF 9 山下亮介
DF 17 飯島秀教

64分IN 石井 OUT 山村
65分IN 中山 OUT 田村
69分IN 山下 OUT 岡

僅かに残る優勝の可能性、大逆転を実現するのに後期8節KOREA戦は負けられない。相手は首位を走るものの、やはりこの試合を取りこぼす事は出来ない。そんな東京勢同士の一戦は東京23FCの先制で始まった。10恭平が抜け出した所を相手DFが倒したものの、これで相手CBが2枚目のイエローで退場。得点王争いでも負けられないエースが自ら決めた。断然有利な状況となり、まずまずの内容で前半を折り返す。しかし後半に入り23が加速しない。23DF陣でのボール回しにチャレンジされ、かっさわれたボールを冷静に決められ同点。さあここからという場面だが、次の1点はKOREA。CKからの流れを右隅に決められ逆転を許す。10人なのはどっちか分からない展開となっていた。アディショナルタイムは4分ある。既に3枚のカードは切っていた23は3中山も前線に上げ猛攻、相手のオウンゴールを誘いようやく同点とする。しかし相手の「勝つという気持ち」が上だった。AT4分、CKからニアで合わされ再度突き放されて万事休す。優勝の可能性は消滅し、地域決勝への道も閉ざされた瞬間だった。最終節を残すリーグ戦、相手は流通経済大FC。どんな時も応援してくれるサポーターのために来季に繋がる内容で飾りたい。

TODAY'S INTERVIEW



監督 **米山 篤志**

—逆転負けとなってしまいましたか？
強い方が勝ったなど、受け止めるしかない試合でした。KOREAの力強さを見せつけられたという所ですね。

—試合前はどのようなゲームプランを描いていたか。

先失点はしたくなかった。良い守備から良い攻撃に行けるように、攻撃を活かすための守備が出来るように、しっかり陣形を整えよう。前半はある程度プラン通りに出来たんじゃないかなと思います。

—後半は10人の相手に劣勢の時間が多かったと思いますが？

割とこういうケースは多いと思うんですけど、だからと言って逆転を許して良い試合ではなかった。ピッチの中で指揮を振れる選手が一人いると、また違う試合になったのかなと思います。

—2-2に追いついた場面はチームの底力も見られましたか？

いえ、そうならないと出来ないのかと。1点リードして一人多い状況で、どうやってゲームを動かすかというのが大事。やらせる所はやらせるけど、自分の方が人数が多いんだからという余裕を、プラスの方に向かわせるゲームコントロールが必要だな。守る時は守る、攻める時は攻めるという、その判断が幼い。

—余裕を持ってコントロール出来ない要因は何だと考えますか？

その状況に慣れていないのと、厳しい状況が今まで少なかったのかなと初めて経験するような試合展開だった。場数を踏んでいけば、こうやってやれば良いんじゃないかというのが自然とわかってくる。そういう事に関しては、伝えて上手にいくことではない。経験値という意味でも、甘さが目立つという印象です。

14 山村和士



—久しぶりの先発出場となりました。どういった思いで試合に臨みましたか。

FC KOREAが相手で、タフな試合になるかと。今年は怪我でチームに貢献できていなかったの、貢献したい、思っていました。

—試合全体をチームを振り返った感想を。

この試合を守備からしっかり入って臨みましたが、プラン通りに行けず、流れも良かった。後半は相手が前にかけてくるのはわかっていたので、我慢して守って二点目が取れば楽になると思いましたが、同点になったことで相手に勢いづかせてしまったなと思います。

—自分のプレーについて、良かった点と改善点を。

守備に重点を置いて臨みましたが、良かった点は前半でしっかりと守備が出来ていたことくらいで、攻撃参加も少なかったし、特に後半は運動量が落ちて自分のサイドからも攻め込まれてしまったので何も言えません。暑い中でももっと走れないと戦えないと感じました。

—逆転優勝の臨みは断たれましたが、リーグ戦残り1試合に繋がる思いは。

来年に繋がる試合ができればと思います。

—最後にサポーターへメッセージを。

サポーターの皆さんの期待に応えられず、本当に不甲斐ないです。今シーズン勝って終わりたいと思います。応援のほど、よろしくお願いします。